

資源ファンド(株式と通貨)
ブラジルリアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース／
メキシコペソ・コース／トルコリラ・コース／米ドル・コース／円コース

最近の基準価額下落と今後の見通しについて

金融市場では、世界的に不安定な展開が続いています。8月に中国経済の減速懸念が高まって以降、世界景気の先行き不透明感を背景に、市場変動の高まる状況が続きました。9月には、こうした状況を受けて、米国での利上げが見送られたことで、世界景気に対する懸念が一層高まることとなりました。なかでも、資源関連株式(資源株)および資源国通貨は、資源需要の低下懸念や投資家のリスク回避の動きなどから、厳しい環境が続きました。

当ファンドの基準価額は、資源株の軟調に加え、資源国通貨の下落が押し下げ要因となり、通貨運用を行なうコースを中心に下落が大きくなりました。なかでも、ブラジルリアル・コースにおいては、ブラジルの景気鈍化や政治不安などを背景に通貨下落が進み、基準価額が特に大きく下落しました。

本レポートでは、当ファンドを取り巻く足元の状況と今後の見通しなどについて、ご説明いたします。

資源株の下落に加え、資源国通貨の下落が基準価額の押し下げ要因に

<米ドルコース・円コースの基準価額推移*>

(2015年1月初～2015年10月2日)

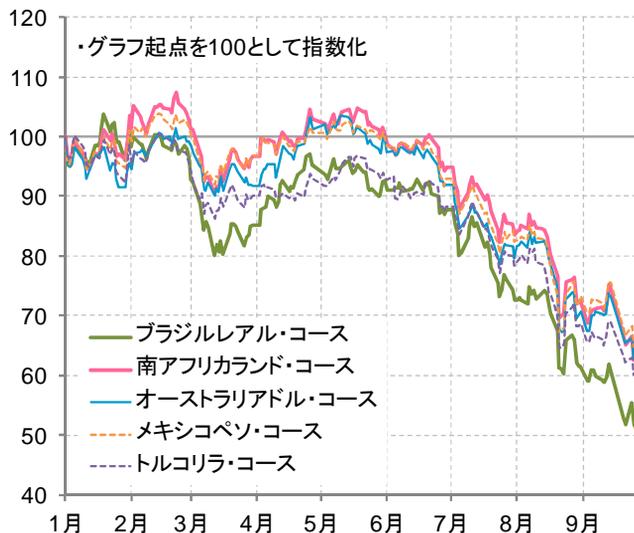
* 税引前分配金再投資ベース



<通貨運用を行なうコースの基準価額推移*>

(2015年1月初～2015年10月2日)

* 税引前分配金再投資ベース



※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。

※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様にご覧いただき「資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース／メキシコペソ・コース／トルコリラ・コース／米ドル・コース／円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

基準価額下落の背景

■ 株式市場 ～原油安や中国の景気減速懸念が、資源株の重石に～

資源株は、原油価格の下落と軟調な株式市場の影響を受け、下落基調が続きました。8月下旬にかけては、中国での予想外の人民元切り下げ実施を受けて、中国経済および世界経済への先行きが懸念されたことに加え、OPEC(石油輸出国機構)の原油生産の増加観測や米原油在庫の増加などを受けて、原油価格が1バレル=40米ドル*を切る水準まで急落したことなどが嫌気されました。

その後、原油価格は米国の底堅い経済指標や原油在庫の減少などに支えられ、1バレル=45米ドル*近辺での落ち着いた展開が続きましたが、9月中旬に米国で利上げが見送られ、中国の景気鈍化が鮮明になると、景気の先行き不透明感の強まりとともに株式市場は大きく調整することとなり、資源株は、株式市場の中でも下落を強める展開となりました。

* WTI(ウェスト・テキサス・インターメディアート)ベース

■ 為替市場 ～資源安や米利上げ観測のほか、国内政情不安などが資源国通貨を圧迫～

為替市場では、米国の利上げ観測を背景に米ドルが堅調に推移した一方、資源需要減退に伴う資源国の景気減速懸念などを背景に、高金利通貨である資源国通貨は軟調な展開となりました。9月中旬に、世界情勢の影響を見極めたいとして、米国で利上げが見送られると、資源国通貨は買い戻される場面もみられましたが、その後、投資家のリスク回避姿勢の強まりとともに、再び軟調となりました。

なかでもブラジルレアルは、夏以降、国営石油会社に絡む汚職疑惑などに伴う政局不安に加え、資源価格の下落に伴う景気鈍化懸念や財政健全化目標の大幅引き下げ、大手格付会社による同国国債の投資不適格級への格下げなどから、相対的に売り圧力の強まる状況が続き、9月下旬には、対米ドルで1994年の現行通貨導入以来の最安値をつけることとなりました。

またトルコリラは、政局の不透明感が相場の重石となっています。8月中旬には、世界的に市場で不安が広がっていたところに、トルコの連立交渉の決裂ならびに11月のやり直し選挙実施が伝わり、トルコリラの下落が強まりました。ただし、9月に米国で利上げが見送られてからは、落ち着きを取り戻しています。

<資源株と原油価格の推移(米ドルベース)>

(2015年1月初～2015年10月2日)

グラフ起点を100として指数化



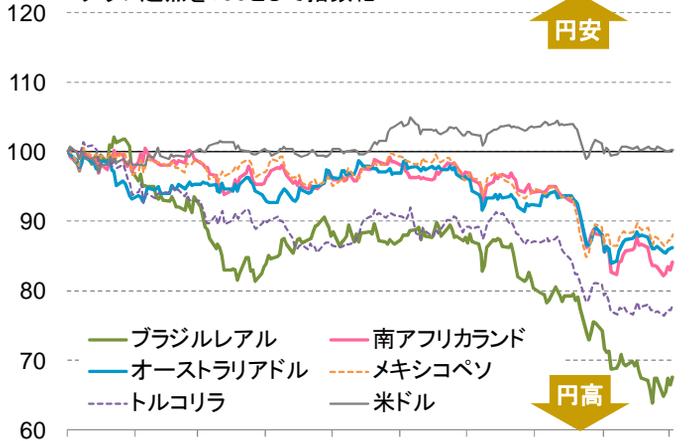
世界株式:MSCI AC ワールド指数、資源株:S&Pグローバル・ナチュラル・リソースズ指数

※上記指数は、市況動向をご紹介するための参考指標であり、当ファンドのベンチマークではありません。

<為替(対円)の推移>

(2015年1月初～2015年10月2日)

グラフ起点を100として指数化



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■ 当資料は、投資者の皆様にご覧いただく「資源ファンド(株式と通貨)ブラジルレアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース/メキシコペソ・コース/トルコリラ・コース/米ドル・コース/円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

今後の見通し
(資源株)

企業間での二極化が進むなか、銘柄選定の重要性が一層高まる

- 中国の景気減速や資源の供給過剰が価格下落圧力となるなか、資源を取り巻く環境の構造的な改善には時間を要することから、当面、短期的な材料に左右されやすい展開が続くとみられます。一方、米国での利上げ実施などを背景に米ドルが上昇すれば、通常、米ドル建てで取引される資源価格にとっては、割高感につながることから価格押し下げ圧力に働くと考えられますが、今回のように景気回復に伴う利上げ局面においては、資源需要の伸びを押し上げる可能性があることから、今後、利上げ動向が米国景気の持続性にどう影響を与えるか注目されます。
- 原油の需給面において、供給過多は続いているものの、この数年で調整が進んでおり、需要動向が今後のカギを握るとみられます。なお、中国やインドが2016年にかけて戦略的備蓄を増やすと見込まれていることもあり、需要は堅調です。また、米国での原油生産がここきて減少し始めていることは、支援材料と考えられます。ただし、OPECによる大幅な減産は見込まれないことに加え、イランが、欧米などからの制裁解除に伴ない、向こう数ヶ月内に原油供給を拡大するとみられることもあり、原油価格が以前のような高水準に戻る可能性は低いとみられます。そのため、原油価格は、現水準を挟んだ範囲内での推移が続くと考えられます。
- こうしたなか、資源関連企業は、コスト削減や新規生産に対する投資削減、事業効率性の改善などの努力により、低価格の環境への適応を積極化させており、世界経済の回復ペースが緩やかな局面においても収益を生み出す企業も見受けられます。しかしながら、こうした企業は必ずしも業界全体にわたるものではないことから、企業収益や株価パフォーマンスの二極化が見受けられます。そのため、当ファンドでは、コスト面での価格競争力を持ち、強力な経営陣と健全な財務体質を有する企業に着目しています。そして、その中から、特に財務の健全性に優れ、幅広い収益源を有する資源メジャーなどの銘柄群と、企業ファンダメンタルズが強固であり、資源価格が反発する際には比較的大きな恩恵が見込まれる銘柄群などの観点から銘柄選択を行ない、バランスを考慮して投資を行なっています。

※ 当資料は、当ファンドの主要投資対象である「ナチュラル・リソース・ファンド」を運用する日興アセットマネジメントアメリカズ・インクからのコメントなどをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

■ 当資料は、投資者の皆様にご覧いただく「資源ファンド(株式と通貨) ブラジルリアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース/メキシコペソ・コース/トルコリラ・コース/米ドル・コース/円コース」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

今後の見通し
(通貨)

各通貨の状況と見通し



ブラジルレアル

ブラジルでは、景気減速に加えて、国営石油会社に絡む汚職疑惑による政局の不透明感などを背景に、政権への失望感が広がっています。財政健全化の先行きが危ぶまれることや米国の利上げ観測は、引き続き、ブラジルレアルの下押し圧力になるとみられます。

一方、これまでの通貨下落を受け、9月下旬には、中央銀行総裁が外貨準備を通じた下支えの可能性を示唆したほか、8月の財政赤字が予想に反して縮小するなど、幾分支援につながる材料もみられました。

10月初旬には、内閣改造ならびに行政改革が発表されたことから、政権運営の立て直しや財政健全化に向けた取り組みが前進するとの期待が高まっており、今後、取り組みの進捗が注目されます。



南アフリカランド

南アフリカでは、世界貿易の鈍化や軟調な商品価格による鉱業部門への影響、通貨安に伴う輸入物価の高騰など、国内外の諸問題から、景気が思わしくなく、高失業率が続き、インフレ率も高水準となっています。また、経常赤字の増加なども課題となるなか、中央銀行は、経済成長を犠牲にインフレ抑制に向けた利上げを行なうべきかという難しい選択を迫られており、近いうちに利上げを行なう可能性も考えられます。

こうしたなか、南アフリカランドは、海外からの証券投資割合も高いことから、低水準が見込まれる同国の経済情勢に加え、当面は米利上げを巡る金融市場の反応などを受け、不安定な動きが続くとみられます。



オーストラリアドル

オーストラリアは資源ならびに中国への経済依存度が高いことから、資源価格下落と中国の景気減速懸念の影響が、豪ドル安につながっていますが、中央銀行は、資源偏重の経済構造を是正し、国内産業の競争力向上を図るため、引き続き、通貨安を歓迎しています。

足元で、経済成長の鈍化とインフレの下振れがみられるなか、当面、金利の据え置きが続くと見込まれますが、一方で、この低金利環境は、住宅市場や個人消費の下支えにつながっています。



米ドル

9月のFOMC(連邦公開市場委員会)では、底堅い経済成長ならびに失業率の低下にもかかわらず、利上げが見送られましたが、FOMCメンバーの多くが、依然として年内利上げを見込んでいることから、10月および12月の会合や関係者の発言などに注目が集まっています。

FRB(連邦準備制度理事会)がQE3(量的緩和第3弾)を終了して以降、量的緩和を続ける日欧の通貨、ならびに高金利通貨に対して、米ドルの強含みが続いており、底堅い経済成長を背景に、当面、米ドル優位の状況が続くとみえています。



メキシコペソ

9月上旬、2016年の成長見通しが引き下げられた一方、財政赤字半減の計画は維持されました。

来年にかけて、同国は3%程度の経済成長にとどまるとみられるなか、米国景気の回復と低水準の原油価格が交錯し、メキシコペソは小幅の値動きが続くと見込まれます。



トルコリラ

政局不安が続くトルコでは、海外からの資金流入の鈍化などに伴ない、資金流動性が低下しているほか、インフレ率も高止まりしていることなどから、中央銀行はこれまでの様子見姿勢を改め、早晩、利上げに踏み切る可能性があります。

クルド情勢の緊迫化なども懸念されるなか、11月に控えた総選挙の行方が注目材料となっています。

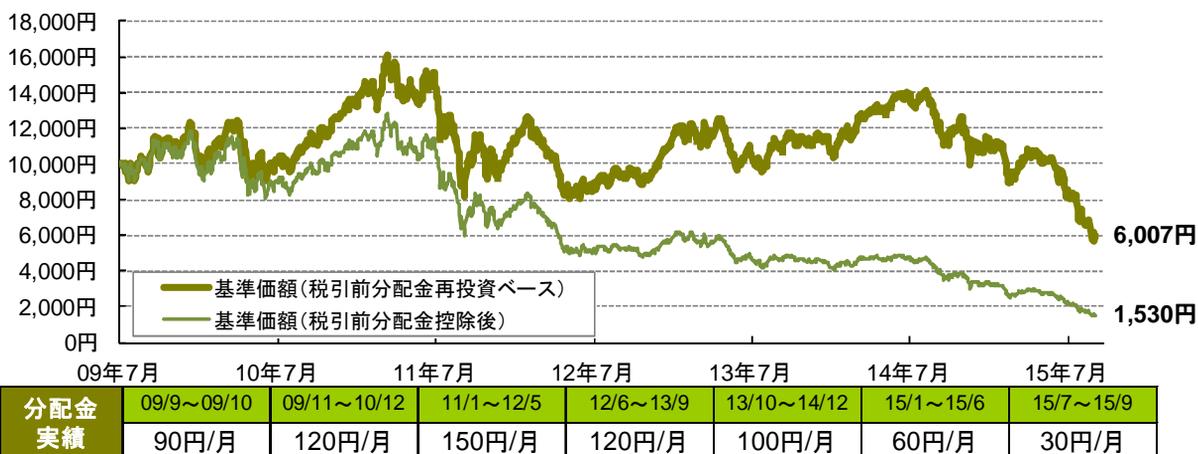
※ 当資料は、当ファンドの主要投資対象である「ナチュラル・リソース・ファンド」を運用する日興アセットマネジメントアメリカズ・インクからのコメントなどをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

■ 当資料は、投資者の皆様にご覧いただく「資源ファンド(株式と通貨) ブラジルレアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース/メキシコペソ・コース/トルコリラ・コース/米ドル・コース/円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

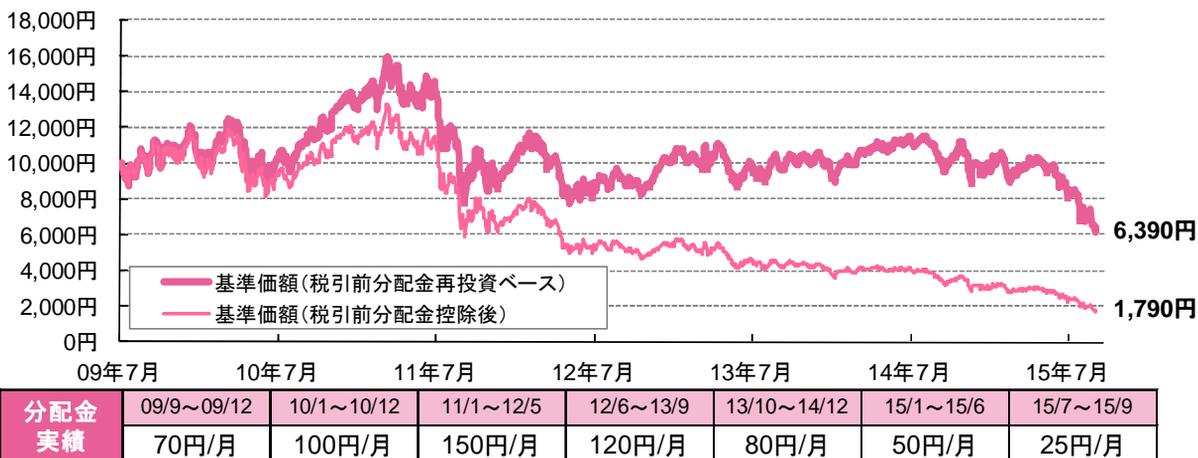
基準価額と分配金の推移

2009年7月31日(設定日)~2015年10月2日

ブラジル
リアル・
コース



南アフリカ
ランド・
コース



オーストラリア
ドル・
コース



※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
 ※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
 ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものであることにご留意ください。
 ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

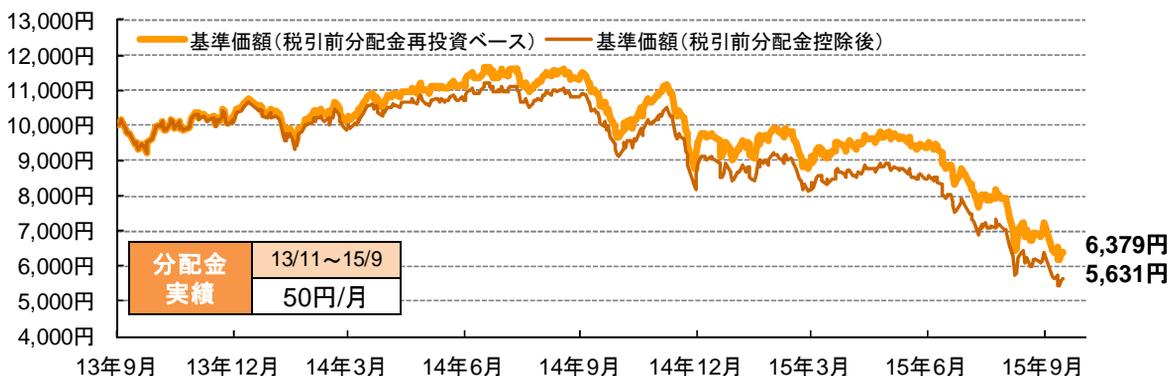
■当資料は、投資者の皆様へ「資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース/メキシコペソ・コース/トルコリラ・コース/米ドル・コース/円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

基準価額と分配金の推移

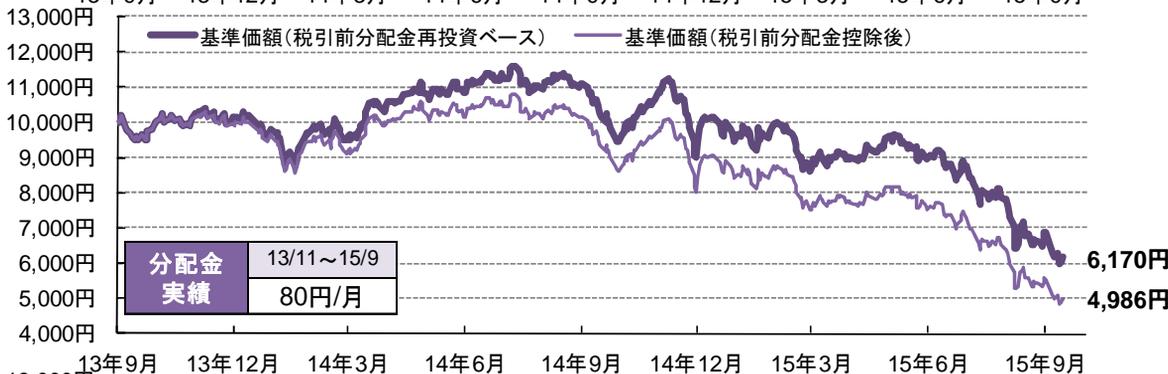
2013年9月18日(設定日)~2015年10月2日

※円コースのみ、2012年4月2日(設定日)~2015年10月2日

メキシコ
ペソ・
コース



トルコリラ・
コース



米ドル・
コース



円
コース



※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。

※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもものとして計算した理論上のものであることにご留意ください。

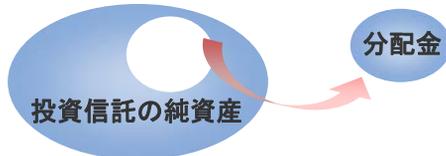
※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

■当資料は、投資者の皆様には「資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース/メキシコペソ・コース/トルコリラ・コース/米ドル・コース/円コース」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

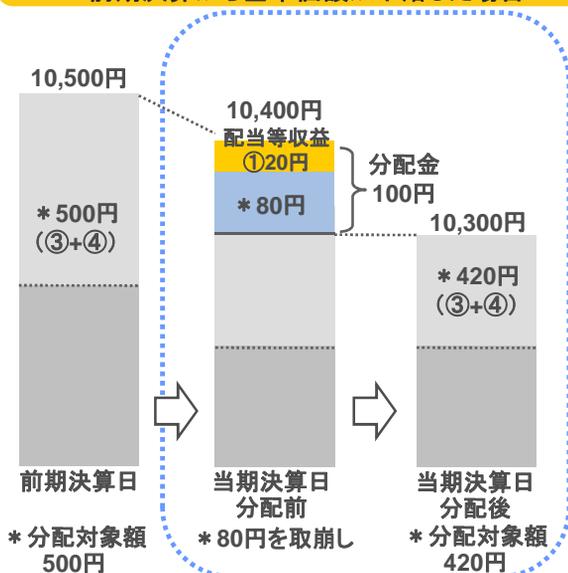
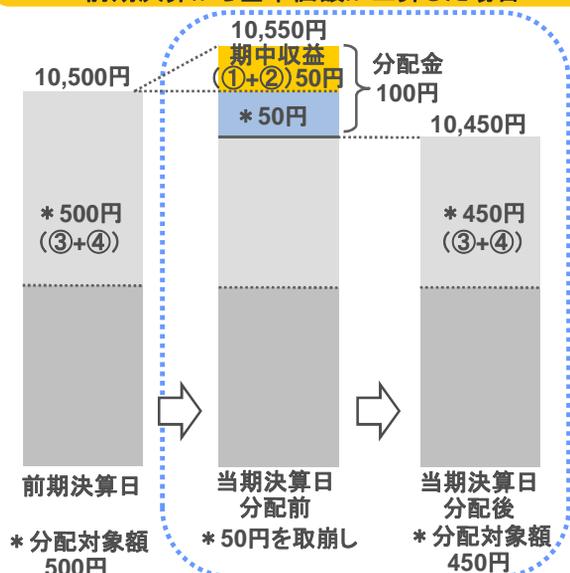


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合

前期決算から基準価額が下落した場合



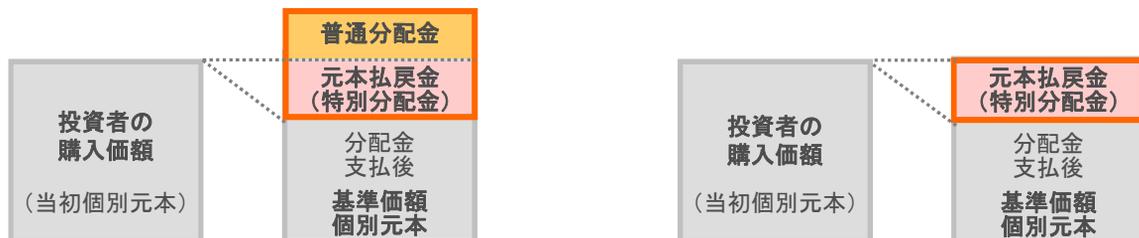
(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

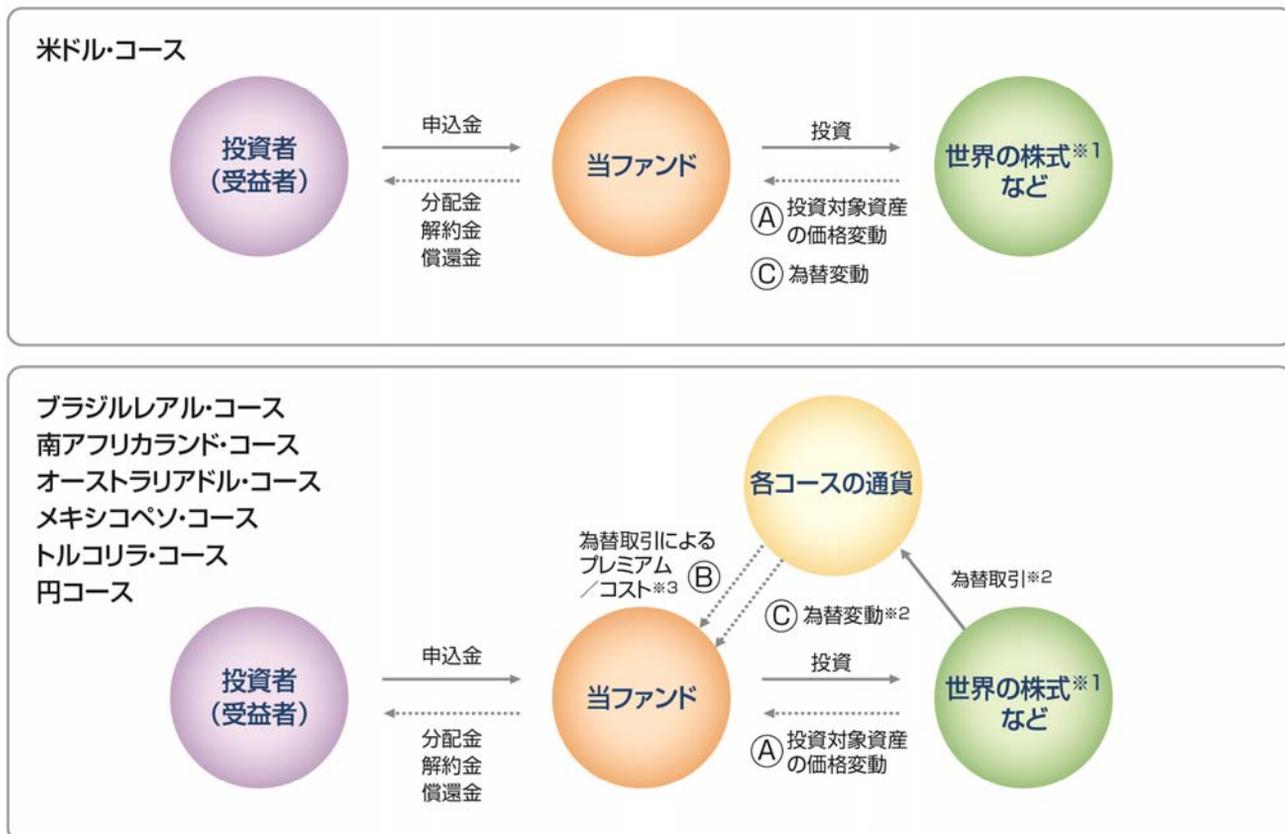
元本払戻金 (特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース/メキシコペソ・コース/トルコリラ・コース/米ドル・コース/円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項①

- 通貨選択型の投資信託は、投資対象資産(株式や債券など)の運用に加えて、為替取引による通貨の運用も行っており、為替取引の対象となる通貨を選択することができます。

通貨選択型の投資信託のイメージ図



※1 当ファンドは、外国投資信託を通じて世界の株式に投資を行いません。

※2 円コースは、原則として為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。各コースの通貨が円以外の場合には、各コースの通貨と円の為替変動リスクがあります。

※3 為替取引によるプレミアム/コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益/費用です。

通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項②

●通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。なお、収益源である3つの要素にはリスクが内在しています。詳しくは、「リスク情報」をご覧ください。

収益の源泉		= ① 株価の値上がり/値下がり	+ ② 為替ヘッジプレミアム/コスト	+ ③ 為替差益/差損
米ドル・コース	収益を得られるケース	株価の上昇*	為替ヘッジを行なわないのでありません。	為替差益の発生 原資産通貨に対して 円安
	損失やコストが発生するケース	株価の下落*		為替差損の発生 原資産通貨に対して 円高

収益の源泉		= ① 株価の値上がり/値下がり	+ ② 為替ヘッジプレミアム/コスト	+ ③ 為替差益/差損
円コース	収益を得られるケース	株価の上昇*	ヘッジプレミアムの発生 円の金利 - 米ドル金利 が プラス	原則として 為替ヘッジを行ない、 為替変動リスクの 低減を図ります。
	損失やコストが発生するケース	株価の下落*	ヘッジコストの発生 円の金利 - 米ドル金利 が マイナス	

収益の源泉		= ① 株価の値上がり/値下がり	+ ② 為替取引によるプレミアム/コスト	+ ③ 為替差益/差損
ブラジルリアル・コース 南アフリカランド・コース オーストラリアドル・コース メキシコペソ・コース トルコリラ・コース	収益を得られるケース	株価の上昇*	プレミアム (金利差相当分の収益)の発生 各コースの 通貨の金利 - 米ドル金利 が プラス	為替差益の発生 各コースの通貨に対して 円安
	損失やコストが発生するケース	株価の下落*	コスト (金利差相当分の費用)の発生 各コースの 通貨の金利 - 米ドル金利 が マイナス	為替差損の発生 各コースの通貨に対して 円高

*ADRに投資する場合、ADRの価格には、当該現地株式の通貨に対する米ドルの変動が含まれます。そのため、当該現地株式の通貨に対して米ドル安であれば、株価上昇要因、当該現地株式の通貨に対して米ドル高であれば、株価下落要因となります。

※市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

通貨運用に関する留意事項

- 各通貨の運用に当たっては、直物為替先渡取引(NDF取引)を活用する場合があります。
- NDF取引とは、投資対象通貨を用いた受渡を行わず、主に米ドル等による差金決済のみを行なう取引のことを言います。
- NDF取引では、需給や規制などの影響により、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)が、短期金利から算出される理論上の水準から乖離する場合があります。そのため、想定している投資成果が得られない可能性があります。

■為替取引には、為替ヘッジ(原資産通貨を売り、円を買う取引)が含まれています。為替ヘッジの場合、「為替取引によるプレミアム/コスト」を「為替ヘッジプレミアム/コスト」といいます。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース/メキシコペソ・コース/トルコリラ・コース/米ドル・コース/円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

- 1 主として世界の資源株に投資を行ない、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
- 2 「ブラジルリアル・コース」「南アフリカランド・コース」「オーストラリアドル・コース」「メキシコペソ・コース」「トルコリラ・コース」「米ドル・コース」「円コース」の7つのコースがあります。
- 3 毎月、収益分配を行なうことをめざします。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みに際しての留意事項①

■リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式(預託証券を含みます。以下同じ。)を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。
- ・公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

【流動性リスク】

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

【信用リスク】

- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト(債務不履行)や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト(債務不履行)が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。(次ページへ続きます)

■当資料は、投資者の皆様にご覧いただく「資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース/メキシコペソ・コース/トルコリラ・コース/米ドル・コース/円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みに際しての留意事項②

【為替変動リスク】

(前ページより続きます)

◆ブラジルリアル・コース

- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替取引を行なうため、ブラジルリアルの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場がブラジルリアルに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替取引を完全に行なうことができるとは限らないため、場合によってはブラジルリアルと米ドルの2通貨間の金利差を十分に享受することができない可能性や、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、ブラジルリアルの金利が米ドル金利より低い場合、米ドルとブラジルリアルの金利差相当分の為替取引によるコストが発生します。
- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産であるADRの値動きは、当該企業の株式の価格変動に加えて、当該株式の発行国通貨の米ドルに対する為替変動の影響を受けます。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

◆南アフリカランド・コース

- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として米ドル売り、南アフリカランド買いの為替取引を行なうため、南アフリカランドの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場が南アフリカランドに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替取引を完全に行なうことができるとは限らないため、場合によっては南アフリカランドと米ドルの2通貨間の金利差を十分に享受することができない可能性や、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、南アフリカランドの金利が米ドル金利より低い場合、米ドルと南アフリカランドの金利差相当分の為替取引によるコストが発生します。
- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産であるADRの値動きは、当該企業の株式の価格変動に加えて、当該株式の発行国通貨の米ドルに対する為替変動の影響を受けます。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

◆オーストラリアドル・コース

- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として米ドル売り、オーストラリアドル買いの為替取引を行なうため、オーストラリアドルの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場がオーストラリアドルに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替取引を完全に行なうことができるとは限らないため、場合によってはオーストラリアドルと米ドルの2通貨間の金利差を十分に享受することができない可能性や、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、オーストラリアドルの金利が米ドル金利より低い場合、米ドルとオーストラリアドルの金利差相当分の為替取引によるコストが発生します。
- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産であるADRの値動きは、当該企業の株式の価格変動に加えて、当該株式の発行国通貨の米ドルに対する為替変動の影響を受けます。

◆メキシコペソ・コース

- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として米ドル売り、メキシコペソ買いの為替取引を行なうため、メキシコペソの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場がメキシコペソに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替取引を完全に行なうことができるとは限らないため、場合によってはメキシコペソと米ドルの2通貨間の金利差を十分に享受することができない可能性や、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、メキシコペソの金利が米ドル金利より低い場合、米ドルとメキシコペソの金利差相当分の為替取引によるコストが発生します。
- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産であるADRの値動きは、当該企業の株式の価格変動に加えて、当該株式の発行国通貨の米ドルに対する為替変動の影響を受けます。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

(次ページへ続きます)

■当資料は、投資者の皆様にご覧いただく「資源ファンド(株式と通貨) ブラジルリアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース/メキシコペソ・コース/トルコリラ・コース/米ドル・コース/円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みに際しての留意事項③

【為替変動リスク】(続き)

(前ページより続きます)

◆トルコリラ・コース

- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として米ドル売り、トルコリラ買いの為替取引を行なうため、トルコリラの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場がトルコリラに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替取引を完全に行なうことができるとは限らないため、場合によってはトルコリラと米ドルの2通貨間の金利差を十分に享受することができない可能性や、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、トルコリラの金利が米ドル金利より低い場合、米ドルとトルコリラの金利差相当分の為替取引によるコストが発生します。
- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産であるADRの値動きは、当該企業の株式の価格変動に加えて、当該株式の発行国通貨の米ドルに対する為替変動の影響を受けます。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

◆米ドル・コース

- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として為替ヘッジを行わないため、米ドルの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場が米ドルに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産であるADRの値動きは、当該企業の株式の価格変動に加えて、当該株式の発行国通貨の米ドルに対する為替変動の影響を受けます。

◆円コース

- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行なうことで為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なうにあたっては、円の金利が米ドルの金利より低い場合、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。為替および金利の動向によっては、為替ヘッジに伴うヘッジコストが予想以上に発生する場合があります。
- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産であるADRの値動きは、当該企業の株式の価格変動に加えて、当該株式の発行国通貨の米ドルに対する為替変動の影響を受けます。

【カントリー・リスク】

- ・投資対象国における非常事態など(金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

お申込みに際しての留意事項④

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご「資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース/メキシコペソ・コース/トルコリラ・コース/米ドル・コース/円コース」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様にご帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡します。内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込メモ

■ 商品分類	追加型投信/内外/株式
■ ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
■ ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
■ ご購入不可日	購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、購入のお申込みの受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
■ 信託期間	【ブラジルリアル・コース】【南アフリカランド・コース】【オーストラリアドル・コース】 2024年6月17日まで(2009年7月31日設定) 【メキシコペソ・コース】【トルコリラ・コース】【米ドル・コース】 2024年6月17日まで(2013年9月18日設定) 【円コース】2024年6月17日まで(2012年4月2日設定)
■ 決算日	毎月17日(休業日の場合は翌営業日)
■ 収益分配	【ブラジルリアル・コース】【南アフリカランド・コース】【オーストラリアドル・コース】【円コース】 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に 行なうことをめざします。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ※「原則として、安定した分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定 したものになることや基準価額が安定的に推移することなどを示唆するものではありません。 また、基準価額の水準、運用の状況などによっては安定した分配とならない場合があること にご留意ください。 【メキシコペソ・コース】【トルコリラ・コース】【米ドル・コース】 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
■ ご換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額
■ ご換金不可日	換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる 場合は、換金請求の受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、販売会社 にお問い合わせください。
■ ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
■ 課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

■当資料は、投資者の皆様にご「資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース/メキシコペソ・コース/トルコリラ・コース/米ドル・コース/円コース」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時に直接ご負担いただく費用>

購入時手数料 : 購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、3.78%(税抜3.5%)を上限として販売会社が定める率とします。
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

《ご参考》

(金額指定で購入する場合)

購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、100万円全額が当ファンドの購入金額とはなりません。

(口数指定で購入する場合)

例えば、基準価額10,000円のときに、購入時手数料率3.78%(税込)で、100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。

購入金額=(10,000円/1万口)×100万口=100万円、

購入時手数料=購入金額(100万円)×3.78%(税込)=37,800円 となり、

購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万7,800円をお支払いいただくこととなります。

換金手数料 : ありません。

信託財産留保額 : ありません。

※ 販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。また、販売会社によっては、他のファンドとスイッチングを行なえる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.79%(税抜1.71%)程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.08%(税抜1.0%)、投資対象とする投資信託証券の組入りに係る信託報酬率が年率0.71%程度となります。受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

その他費用 : 【ブラジルリアル・コース】【南アフリカランド・コース】【オーストラリアドル・コース】目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。

※組入る有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

【メキシコペソ・コース】【トルコリラ・コース】【米ドル・コース】【円コース】

目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。

※組入る有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
- 受託会社 野村信託銀行株式会社
- 販売会社 販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
[ホームページ]http://www.nikkoam.com/
[コールセンター]0120-25-1404 (午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

【ブラジルリアル・コース】【南アフリカランド・コース】【オーストラリアドル・コース】

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○		○	
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○		○	
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMBCフレンド証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第40号	○			○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第114号	○			
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○			
日産センチュリー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○	
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○		
ひろぎんウツミ屋証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○			
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○		○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○		○	○

【メキシコペソ・コース】【トルコリラ・コース】【米ドル・コース】【円コース】

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○		○	
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○		○	
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMBCフレンド証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第40号	○			○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第114号	○			
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○			
日産センチュリー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○	
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○		
ひろぎんウツミ屋証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○		○	○

(いずれも50音順、資料作成日現在)

■当資料は、投資者の皆様にご「資源ファンド(株と通貨)ブラジルリアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース/メキシコペソ・コース/トルコリラ・コース/米ドル・コース/円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。